

## I 実習報告会

1年生は6月17日(水)~7月3日(金)まで校内実習を、2・3年生は6月15日(月)~7月3日(金)の3週間、企業や福祉事業所等で現場実習をしました。

実習報告会では、次のような話をしました。

### (1) 1年生

#### ① 継続は力なり

○今回の校内実習を通して、いろいろなことができるようになりました。校内実習の時だけ、先生の前だけできるのではなく、いつでも、どこでも、誰にでもできる力を身に付けてほしい。できることをやり抜くことで本物の力になります。

#### ② 校訓「錬達」

○校内実習を通して、自分の課題が明らかになりました。本校の校訓の「錬達」の目指す生徒像として「向上心を持ち、自ら学ぶことのできる生徒」と示している。自ら課題改善に向けて向上心をもって取り組んでほしい。先生から言われるからやるのではない。自分の課題を自ら改善する力を身に付けてほしい。

### (2) 2・3年生

#### ① 体調管理

○休まないで実習に行く、遅刻しないことは会社や事業所からの信頼を得るうえでとても重要なことですが、実習期間中 JR の運休や遅延で出勤できない人がいたと思います。特別支援学校出身の生徒をたくさん雇用している社長さんの話で、大雪で多くのアルバイトの人が欠勤する中、出勤をした特別支援学校出身の人を見たとき雇用してよかったという話を聞きました。休まないことは会社から信頼されることにつながります。

#### ② 自己理解

○学校生活よりも卒業してからの人生は長い。実習先での経験を通して、できること、好きなことを見つけてほしい。好きではないけど、できること、実習先から認められることは、もしかしたら経験をする中でおもしろくなったり好きになったりするかもしれません。

#### ② 錬達「向上心を持ち、自ら学ぶことのできる生徒」

○学校でできないことは実習先ではできません。学校でできるようになること。コミュニケーションが課題という人は、慣れない大人(事務室の先生や、他学年の先生)とコミュニケーションできないと改善しない。自ら向上心をもって学んでほしい。